

第五地連  
機関紙



東京清掃労働組合第五地連  
事務局:東京清掃労働組合葛飾支部  
東京都葛飾区新宿3-17-5  
TEL&FAX 03-3607-7981  
Email seisou-katushika@juno.ocn.ne.jp



年頭にあたって 議長 星野友和

組合員の皆様、新年あけましておめでとうございます。日ごろ、地連活動へのご理解とご協力に感謝申し上げます。本年も引き続きの結集をよろしくお願ひします。

昨秋の賃金確定闘争では、プロック幹事区である墨田での総決起集会に多くの組合員が結集いただき、本部交渉の後押しをすることができました。史上空前の不当勧告の実施阻止を勝ち取ることに繋がったものと確信をしています。

第五地連では昨年度より、「組織財政方針」を踏まえ、これまで同様に学習と交流を中心としながらも、組合員の労働条件の向上に繋がる活動の充実を図っています。とりわけ「交渉担当者会議」と題し、文字通り各区の交渉実務を担っている担当中執と支部書記長にお集まりいただき、作業計画交渉や担当技



能長設置協議の突合せや、年末年始作業に向けた情報共有などを行っていません。中央執行委員会では報告しきれない交渉経過や水面下でのやり取りも含めて共有し、毎回2〜3時間に及ぶ有意義なものとなっております。是非、各支部で全体化し、それぞれ支部での交渉強化に繋げていただきたいと思います。

昨年、12年間にわたって活動を停止していた青年部の活動を再開することができました。まだまだ手探りの活動ですが、青年部員がいるにないに関わらず、全支部の責任で活動を進めることを確認していますので、引き続きのご協力をお願いします。

今年も私たちの賃金・労働条件、平和を守る闘いは困難な状況が予想されます。とりわけ戦争に突き進みながら、国民・労働者の生活破壊をもくろむ安倍政権

いしします。本年もよろしくお願ひします。

各支部の交渉強化に繋がる活動を

第五地連常任委員  
本年もよろしく  
お願ひします

【議長】

星野 友和 (葛飾支部)

【副議長】

山下 秀則 (江戸工支部)

萬崎 匡宏 (江戸川支部)

斉藤 幸司 (墨田支部)

※会計兼務

【事務局長】

岩井 義治 (葛飾支部)

【事務局次長】

小菅 正一 (江東支部)

【常任委員】

橋本 仁一 (足立支部)

斉藤 宏 (足立支部)

島田 晃治 (江戸川支部)

蜂谷 浩之 (江東支部)

佐々木 勲 (墨田支部)

長谷川英昭 (葛飾工支部)

福士 智雄 (江東工支部)

池田 直喜 (墨田工支部)

【会計監事】

三本 和利 (足立支部)

飯山 明弘 (足立支部)

青年部

【議長】

近藤 樹 (葛飾支部)

【事務局長】

斉藤 恭三 (江東支部)

【会計監事】

蜂谷 祐太 (江東工支部)



▲文化会館は満席、初日は床に座って参加しました

# 憲法ではなく、政治を変えよう！ 第55回護憲大会

11月17日から19日にかけて佐賀県で開催された第55回護憲大会に、地連を代表して墨田支部から遠田さんと斉藤さんに参加していただきました。遠田さんからのレポートを掲載します。

第55回護憲大会は、「憲法ではなく、政治を変えよう！」をスローガンに、佐賀市文化会館を中心に3日間にわたって開催されました。大会の開会にあたって、藤本実行委員長より「安倍政権の本質は、国の役に立たない者は切って捨てる」ということ。杉田水脈の『LGBTは生産性がない』、片山さつき



▲名護屋城址、併設の博物館でも学べた



▲玄海原発、4機のうち1号機は廃炉となる



▲呼び名物のイカを堪能させていただきました

か。指をくわえて日本の崩壊を見ている訳にはいかない。憲法に沿った将来像、私たちのめざす社会を語り合おう。」と呼びかけられました。来賓あいさつの後、中村未央沖縄平和運動センター副議長（沖縄県議）からは「沖縄県知事選の勝利は一過性のものでなく、安倍政権崩壊の一步。すべての課題と結び付けながら引き続き全国から力強い団結で平和憲法を守ろう」と現地での闘争を含めた特別報告がありました。

2019年1月25日（金）は、最終日、閉会集会で勝島事務局長が「安倍政権によって国の形が大きく変えられようとしている。今が正に正念場。今大会のスローガンである『憲法ではなく政治を変えよう！』による議論をひとり一人が職場・地域にしっかりと持ち帰り、明日か

## 2019年 旗開き学習会

第五地連では、情勢認識を共有し、闘う意思統一をもってスタートを切るべく、旗開き学習会を開催しています。各支部からの積極的な参加をお願いします。

【日時】2019年1月25日（金）  
17時30分受付45分開始

【場所】ユートリヤ和室1・2

【講演】「18確定闘争の妥結とこれからの課題」（仮）

【講師】多田副中央執行委員長

大会に参加し、私たちの憲法を守る確固たる意志が求められているとあらためて感じました。来年の統一地方選、そして参院選にむけて、市民連合を軸とした野党共闘を中心にありとあらゆる闘いを構築していかねば勝利はありません。微力ながら職場・地域から全力で奮闘する決意が固まった3日間でした。参加させていただいたことに感謝します。  
（墨田支部・遠田寛樹）